

令和5年度 第7回 東海村スポーツ推進計画推進委員会会議録

1	開催日時	令和6年3月19日(火) 18時30分から20時00分まで
2	場所	東海村歴史と未来の交流館 活動室2
3	出席者 (敬称略)	<p><委員> 塚原美光, 黒羽根史朗, 小林伸朗, 吉沼玲子, 石丸美代子, 小泉親彦, 松坂晃, 竹下浩一, 高橋和将, 橋本礼子, 富岡孝明</p> <p><事務局> 河西徹雄(教育部長), 深見孝志(生涯学習課長), 物井聡(生涯学習課課長補佐), 川崎彰利(生涯学習課主任), 佐藤大樹(東海村文化・スポーツ振興財団スポーツ振興係係長)</p>
4	欠席者 (敬称略)	小川満, 杉山章子, 田畑由紀子, 久保田泰世
5	公開又は 非公開の別	公開
6	非公開の理由	—
7	協議・説明事項	<ul style="list-style-type: none"> ・第2期東海村スポーツ推進計画の決定について(報告) ・第2期東海村スポーツ推進計画の推進について(協議) (1) 委員会の年間スケジュールについて (2) 第2期計画の進行管理について (3) 具体的な取り組み・推進体制
8	配布資料	<p>資料1-1…第2期東海村スポーツ推進計画(概要版)</p> <p>資料1-2…第2期東海村スポーツ推進計画(本編)</p> <p>資料2-1…令和6年度以降 委員会の年間スケジュール・議事(案)</p> <p>資料2-1…令和6年度以降 第2期計画の進行管理(案)</p> <p>資料2-2…令和6年度以降 具体的な取り組み・推進体制について</p>
9	発言内容	<p>・第2期東海村スポーツ推進計画の決定について(報告)</p> <p>委員) 第2期計画の概要版や本編を配布するなど, 取り組みのPRのために積極的に活用してはどうか。</p> <p>事務局) 令和6年度に作成するリーフレットと併せて活用していきたい。</p>

委員) 意見収集には、アンケート調査などの量的調査に対して質的調査というインタビュー形式の手法がある。対象に1対1で直接話を聞くと率直な意見を聞くことができ、実態を探る上で有効な手段となることがある。今後の事業展開を探る上では、量的調査と質的調査の使い分けが重要だと考える。

委員) 行政や委員会に加え、村内で活動する団体やサークルなどの一般村民を巻き込んで意見を集約できると、事業展開の幅が広がるのではないか。

委員) 第2期計画のPRの方策として、総会や分科会など各スポーツ団体や地域団体の会合で説明するという手段が有効ではないか。ホームページに掲載しているだけでは浸透しないと感じる。

委員) 行政だけでなく委員会の活動として第2期計画のPRを行うことも検討していきたい。

・第2期東海村スポーツ推進計画の推進について（協議）

(1) 委員会の年間スケジュールについて

委員) 実行機関へのヒアリングを行った上で当年度の取り組みを決める流れがよいのではないか。委員会の中で目的を持った部会を立ち上げ、外へ出て話を聞きに行きたい。

委員) 委員会全体のスケジュールは事務局案のとおりでよい。部会の活動概要（目的、手法、対象、スケジュール等）を事務局で検討して次回委員会で提案してほしい。

(2) 第2期計画の進行管理について

委員) 進行管理のスパンは年1回でよい。進行管理の考え方についても事務局案のとおりでよい。

(3) 具体的な取り組み・推進体制

委員) ウォークラリーについて、海側はあまり住民が立ち入らない地域だが、そこで新しい発見ができるとなればよいアピールになるのではないか。

委員) ウォーキングについては行政の部署間の連携だけでなく、それぞれの委員会等で活動する村民同士が連携し、コラボ事業のようなかたちで展開できるとよい。

委員) 健康増進分野のウォーキングは季節ごとに村内の見所を

	<p>回るコースを設定している。事業への参加者が自主グループを立ち上げて自立したという話も聞く。</p> <p>委員) かつては中学生が久慈川沿いのサイクリングコースを金砂郷の方まで歩く事業を実施していた。ウォーキングはコースや実施方法を工夫すれば多くの対象が参加できる事業となる。</p> <p>委員) 地域スポーツファンクラブについて、地域スポーツを地域が支える仕組みという点では中学校部活動の地域クラブ化が正に当てはまる。</p> <p>委員) スポーツごみ拾いについては、既にスポ少として参加している団体もある。子どもたちはスポ少の活動の一環として違和感なく参加している。仕掛け次第で多くの村民を巻き込むポテンシャルを持つ事業だと感じる。</p> <p>委員) 推進体制については、各団体の取り組み状況を把握する仕組みができるとよい。</p> <p>委員) 例えばスポフェスのような一つのイベントを進める時に村民がメンバーとして加わって意見交換できると盛り上がり、運動・スポーツを自分事化することにも繋がるのではないか。</p>
10 今後の予定	<p>次回は、令和6年度5月中旬頃に開催予定。</p>